

Logitec RAIDシステム搭載 ネットワーク接続型HDユニット クイックリペアガイド

LHD-LANQGシリーズ用

この「クイックリペアガイド」は、本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生した場合の交換手順について説明しています。導入手順については「クイックスタートガイド」を、詳細機能についてはユーザーズマニュアルをお読みください。



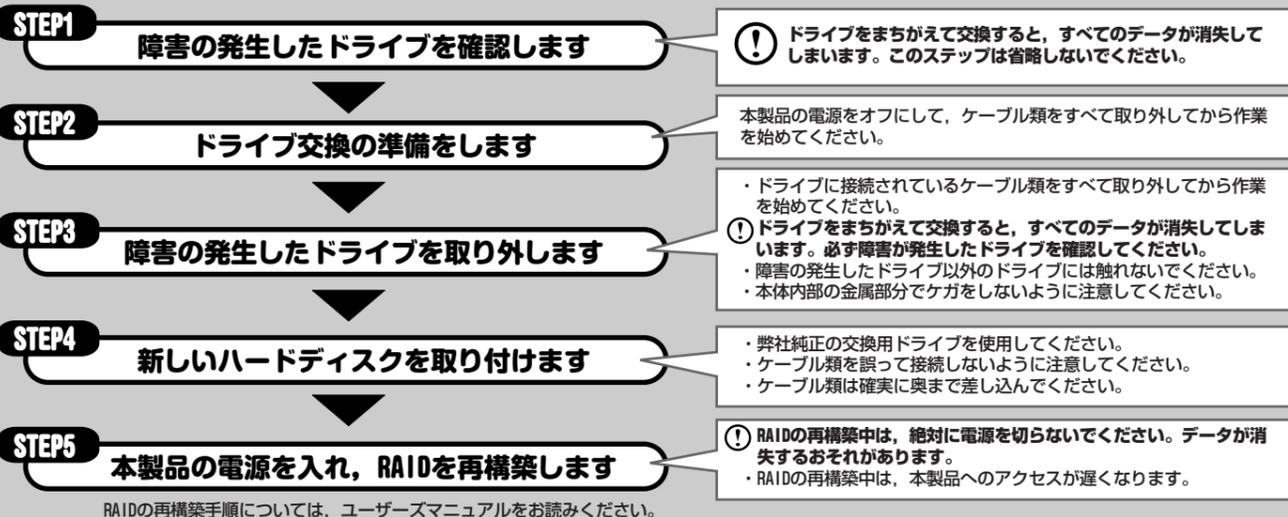
誤って障害が発生していないハードディスクドライブを交換したり、交換用ハードディスクドライブを誤った状態で接続すると、本製品内のデータがすべて消失してしまいます。

- ドライブを交換する前に、必ず障害が発生しているドライブを特定してください。
- データのバックアップは事前に必ずおこなってください。弊社ではいかなる場合でも保存内容の修復、保証はいたしかねますので、十分にご注意ください。
- RAID 0、または非RAID構成で本製品を使用している場合、データの冗長性がありませんので、データは保持されません。

手順を確認しましょう

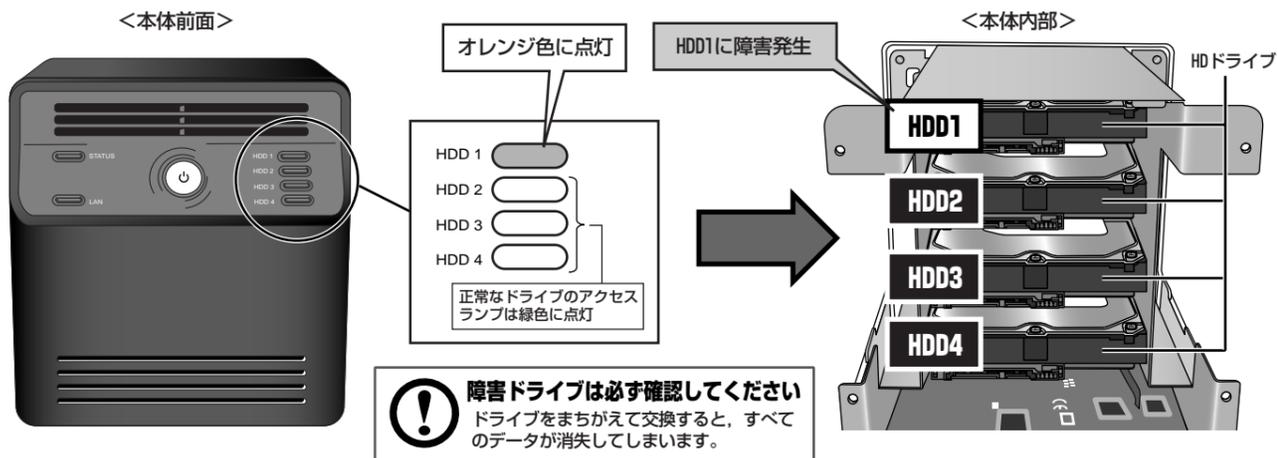
必ず交換手順を確認してから作業を始めてください。

必ずクイックスタートガイド記載の「取り扱い上のご注意」をお読みになってから作業を始めてください。



Step 1 障害の発生したドライブを確認します

本製品の内蔵ハードディスクドライブに障害が発生すると、本製品前面のHDアクセスランプがオレンジ色に点灯します。どのドライブに障害が発生したかを確認してください。



Step 2 ドライブ交換の準備をします

あらかじめ交換用のドライブと、ドライブの取り付け、取り外しに使用するプラスドライバーを準備してから作業を始めてください。

① 本製品の電源を切ります

本製品に接続可能なパソコンでWebブラウザを起動して管理画面を表示し、[ツール]→[シャットダウン]を選択して本製品の電源を切ります。詳細な手順については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

② 本体背面のケーブル類を取り外します

本体前面のランプ類がすべて消え、本製品の電源が切れたことを確認したら、本体背面に接続されている電源ケーブル、LANケーブルを取り外します。

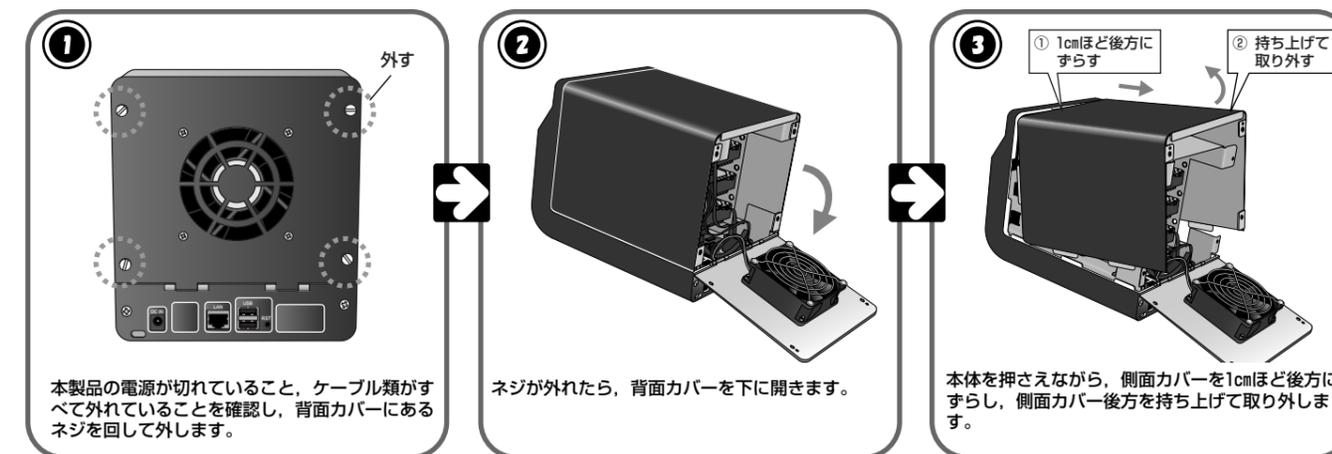
③ 背面カバーを開き、側面カバーを取り外します

背面カバーを固定している4箇所のネジを取り外し、背面カバーを開きます。背面カバーを開いたら、側面カバーを後方にずらしてから持ち上げ、取り外します。

交換用スペアドライブについて

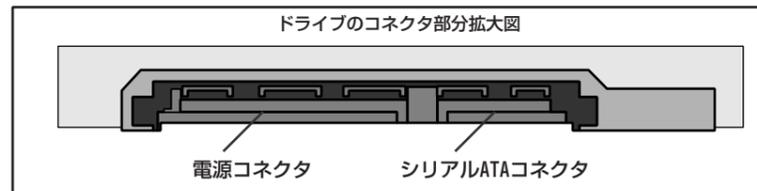
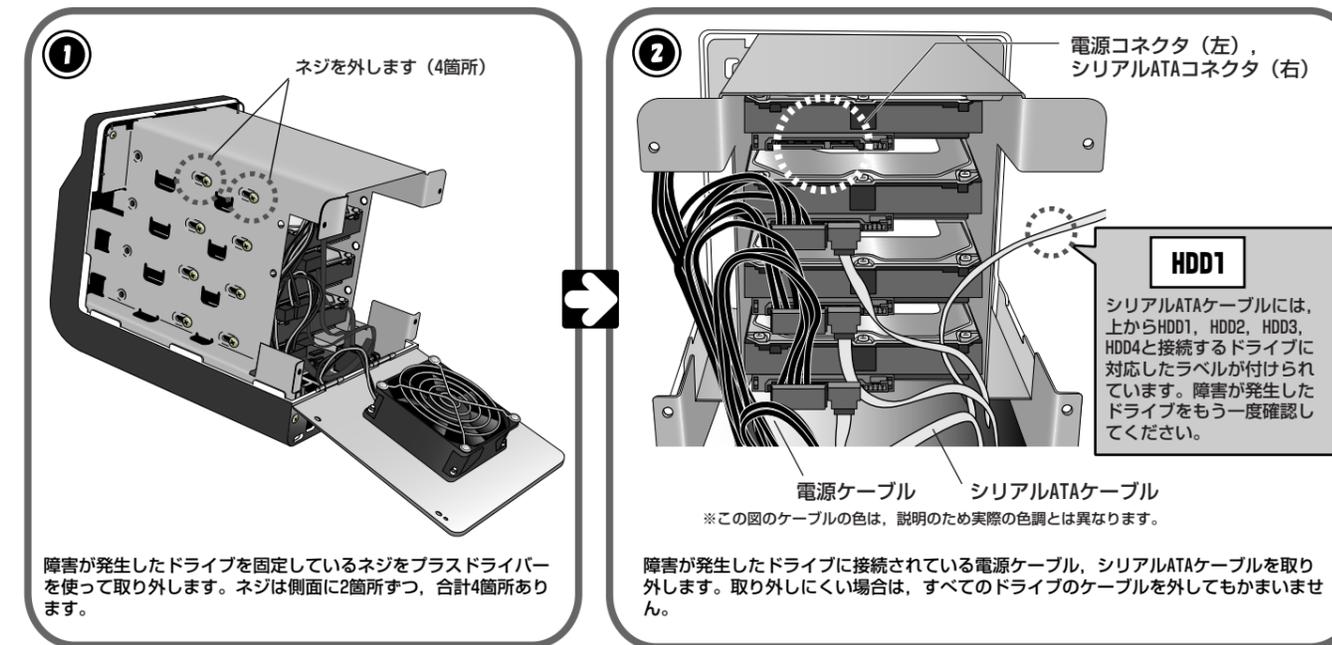
交換用ハードディスクドライブとして、次の製品を用意しております。これら専用以外のドライブを接続した場合の動作保証はしておりません。また、接続するドライブの容量は、すべて同一にしてください。異なる容量のドライブを接続してRAIDを構築した場合、容量の小さいドライブに合わせてボリュームが構成されてしまいます。

- SPD-LAN500QG (LHD-LAN2000QG用)
- SPD-LAN400QG (LHD-LAN1600QG用)
- SPD-LAN250QG (LHD-LAN1000QG用)



Step 3 障害の発生したドライブを外します

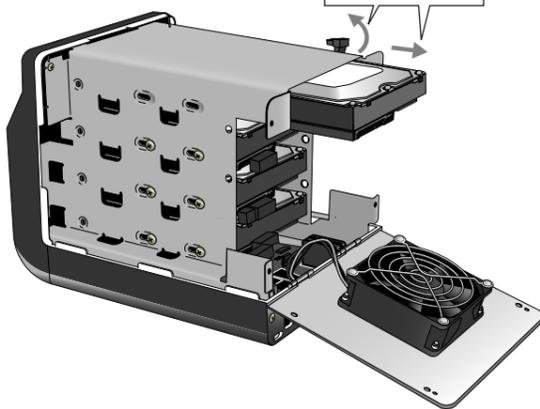
障害が発生したドライブを固定しているネジを外し、ドライブに接続されているケーブル類を取り外してから、ドライブを本製品から取り外します。



！ シリアルATAケーブルの取り付け、取り外しの際は、ハードディスクの番号とケーブルの番号が一致していることを確認しながら作業してください。

ウラに続く

3



障害が発生したドライブをスロットから引き出して取り外します。ドライブをやや上を持ち上げながら引き出すと、スムーズに取り外すことができます。

❗ 本体内部の金属部品には、側面が鋭くつがった箇所があります。ドライブを引き出す際、誤ってケガをしないように十分に注意してください。軍手などの手袋をはめて作業されることをおすすめします。

ドライブを取り外したら、次のステップに進んでください。

Step 4 新しいハードディスクを取り付けます

あらかじめ用意した交換用スペアドライブを取り付けます。Step2, 3と逆の手順でドライブを取り付け、ケーブル類を接続し、カバーを取り付けます。

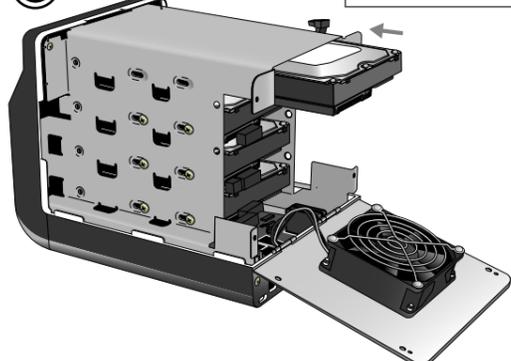


- ・本製品のシリアルATAケーブルには、接続するドライブに対応したラベルが付けられています (HDD1, HDD2, HDD3, HDD4)。必ず障害が発生したドライブに対応したケーブルを接続してください。異なったケーブルを接続すると、本製品内のデータがすべて消失してしまいます。
- ・必ず専用のスペアドライブを使用してください。専用品以外のドライブを接続した場合の動作保証はしていません。
- ・ケーブル類は、確実に奥まで差し込んでください。

1 スペアドライブを取り付けます

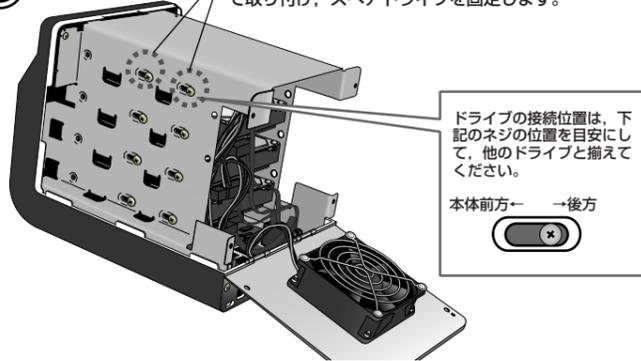
ご使用の製品に対応した専用スペアドライブを用意し、障害が発生したドライブが接続されていた場所に取り付けます。スペアドライブについては、オモテ面の「交換用スペアドライブについて」をお読みください。

1



スペアドライブを、障害が発生したドライブが接続されていた場所に差し込みます。他のドライブと比較し、向きが同じになるようにしてください。

2



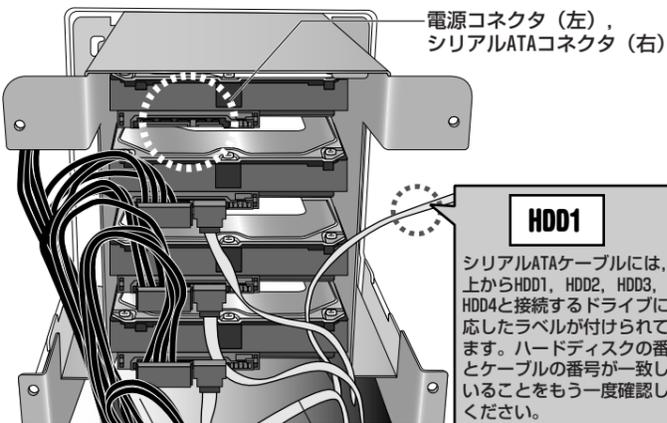
障害が発生したドライブを固定していたネジで、スペアドライブを固定します。ドライブは完全に奥までは差し込まずに、他のドライブに位置を合わせてください。

ドライブの接続位置は、下記のネジの位置を目安にして、他のドライブと揃えてください。

本体前方 ← → 後方



3



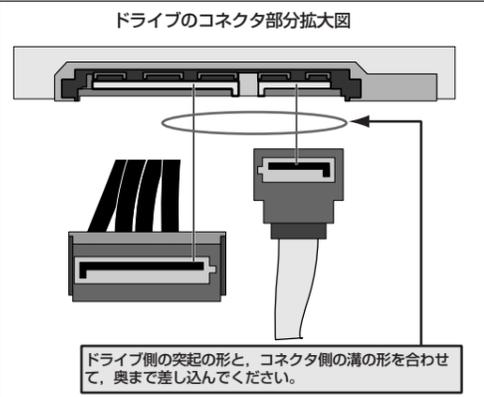
電源コネクタ (左), シリアルATAコネクタ (右)

HDD1

シリアルATAケーブルには、上からHDD1, HDD2, HDD3, HDD4と接続するドライブに対応したラベルが付けられています。ハードディスクの番号とケーブルの番号が一致していることをもう一度確認してください。

電源ケーブル シリアルATAケーブル

電源コネクタ、シリアルATAコネクタに電源ケーブル、シリアルATAケーブルを差し込みます。ケーブルを差し込む前に、必ずケーブルについている番号と、ドライブの番号が一致していることを確認してください。ケーブルは、ケーブルの溝とコネクタの突起を合わせて、奥まで確実に差し込んでください。



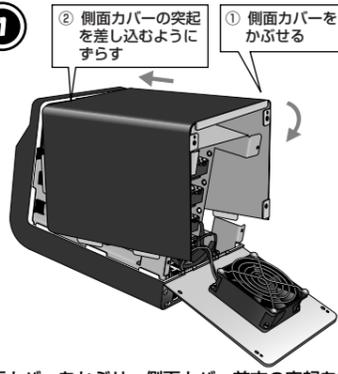
ドライブのコネクタ部分拡大図

ドライブ側の突起の形と、コネクタ側の溝の形を合わせて、奥まで差し込んでください。

2 側面カバー、背面カバーを取り付けます

Step2と逆の手順で側面カバー、背面カバーを取り付けます。

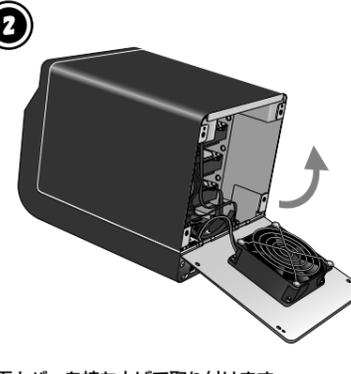
1



側面カバーをかぶせ、側面カバー前方の突起を本体前面の溝に差し込むようにして、側面カバーをずらします。

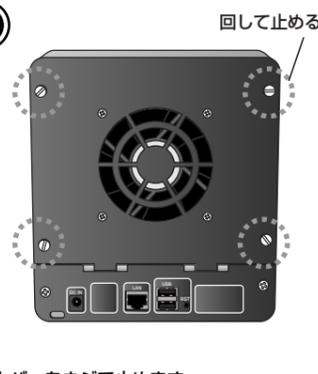
❗ 本体内部のケーブル類を側面カバーに挟み込まないように注意してください。

2



背面カバーを持ち上げて取り付けます。

3



背面カバーをネジで止めます。

3 本体背面にケーブル類を接続します

本体背面に電源ケーブル、LANケーブルなどを取り付け、作業前の状態に戻します。

Step 5 本製品の電源を入れ、RAIDを再構築します

本製品の電源を入れ、RAIDを再構築 (リビルド) します。手順については、ソフトウェアバック内のユーザーズマニュアルをお読みください。



- ・RAIDの再構築中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- ・RAIDの再構築中は、本製品へのアクセスが遅くなりますが、故障ではありません。

RAIDの再構築が終わったら、ハードディスクのリペア (交換) 作業はすべて完了です。